

事業所名 ジュニアサポートリンク

## 支援プログラム

作成日

2025 年 3 月 3 日

(別添資料1)

法人（事業所）理念	「人を大切に・自分を大切に・ものを大切に」 子どもたちをはじめ、つながりあうすべての人との出会いを大切に、他者への思いやりを現すことに努めていきます。元氣な心と身体で働くために、常に自分の健康管理に努め、心をリフレッシュすることを忘れずに利用者はじめ皆様のお役に立ちたいと思います。お客様の物、すべての物を大切に扱う仕事をしていきたいと思います。		
支援方針	自然いっばいの環境下で「遊び」を療育の基本にした放課後デイサービス。森の中、遊びや活動を通じて障害のある子もいない子も共に暮らせる共生の場（子ども園・地域交流）を提供します。小学校から高等部まで年代に応じたプログラムを実施し、将来のライフステージの切替に向けて準備していきます。		
営業時間	10 時	0 分	17 時
	0 分	0 分	0 分
	送迎実施の有無	あり	
		なし	
	支援内容		
健康・生活	○健康状態の把握（利用時の体温測定・気分の把握） ○生活リズムの安定（定期的に通所） ○基本的な生活スキルを身につける（構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援） ※視覚的に「どこに何かあるか」「どこで何をするか」など、絵などを使い分かりやすく具体的に表示 ○SST（ソーシャルスキルトレーニング）による身体的・精神的・社会的トレーニング（人か社会で他の人と関わりながら生きていくために欠かせないスキルを身につける）		
運動・感覚	○姿勢と運動、動作の基本的能力の向上（ストレッチ・ラジオ体操・軽い運動） ○トランポリン（運動能力） ○ドラムサークル（障害を越えて楽しむ） ○姿勢保持と運動、動作の向上のための補助的手段の活用（バランスボールでの姿勢保持など） ○保持する感覚の活用（感覚過敏用のイヤーマフの活用） ○運動能力の向上 ○身体		
認知・行動	○認知の特性についての理解と対応（視覚優位・言語優位・聴覚優位などの認知特性についての理解と対応） ○行動障害への予防および対応 ○対象や外部環境への適切な認知と行動の習得（・1日の時間帯活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成・フロック遊びによる空間把握の認知形成・小集団によるゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮 他） ○季節の変化への興味などの感性形成のための活動、外出		
言語コミュニケーション	○コミュニケーションの基礎的能力の向上 ○言語の受容と表出（はじまりの会での今日の気分・気持ちを発表して言語表出・受容、帰りの会での振り返りと気持ちを発表して言語表出・受容） ○コミュニケーション手段の選択と活用（個別、または小集団での障害特性に応じた読み書き） ○状況に応じたコミュニケーション ○絵や絵カードを使って視覚化		
人間関係 社会性	○情緒の安定 ○他者との関わり、人間関係の形成（役割分担のある遊びなどの協同遊び・ルールの理解が必要な遊びや集団活動） ○遊びを通じた社会性の発達（イベントなどを通じた地域との交流）		
家族支援	○アタッチメント（養育）の安定 ○家族からの相談に対する適切な助言等（きょうだい含む） ○障害の特性に配慮した家庭環境の整備	移行支援	○保育所、児童クラブなどへの移行支援 ○18歳の（成人への移行時）ライフステージ切替を見据えた将来的な移行に向けて準備
地域支援・地域連携	○保育所・学校・医療機関等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に關する相談援助の取り組み ○地域、他事業所との交流、連携	職員の質の向上	○事業所内研修、外部研修への派遣など ○感染症・虐待防止・身体拘束禁止研修 ○事例検討 ○療育・制度・5領域に関わる勉強会
主な行事等	○お正月行事（初詣・仙台雑煮、おせちを頂きお正月の行事や風習を知る） ○節分（鬼面作り、豆まき） ○継続作り、お継続ランチ（4月3日） ○子供の日のお祝い ○児童公園でのお花見 ○夏休み期間のプール設置 ○干し柿作り ○畑作業（玉ねぎ、芋掘りなど） ○手作りおやつ（唐方巻き・ホットケーキ・たこ焼き他） ▲家族・地域参加の 夏祭り・「オータムフェス」・芋煮会・クリスマス子ども市（子ども園行事への参加） ※売店を出し、商品制作・販売体験・卒業を祝う会		

本人支援